

平成25年度の不当要求行為は87件発生

ーピーク時（平成19年度）の1／8まで減少ー
ただし暴力行為、脅迫・威圧行為の割合は増加

自動車検査独立行政法人は、平成25年度中に全国の自動車検査場から報告があった、自動車検査での検査職員に対する暴力行為、脅迫行為、強要行為等の不当要求行為についてまとめたのでお知らせします。

1. 全国93カ所の自動車検査場から報告があった不当要求行為の総件数は、87件（前年度比84件減（49%減））、平成19年度のピーク時を100とすると25年度は13と大幅に減少しました。これは、不当要求に対する当法人の組織的で毅然とした対応の徹底の抑止効果によるものと考えています。
2. 不当要求行為の受検者別の内訳を見ると、受検代行業者が約58%、ユーザー本人が約33%、整備工場が約9%となっており、受検代行業者が半数以上を占めています。また、受検代行業者及びユーザー本人の割合は法人発足以来、最も高い割合になっています。一方、整備工場の割合は対前年度比3.1%減少し、最も低い割合になりました。
3. 不当要求行為の内訳を見ると、全般的に件数は大幅な減少傾向にあるものの、警察が出動した事案は19件あり、その内訳は受検代行業者14件、ユーザー本人が4件、整備工場が1件で、受検代行業者の不当要求によるものが7割を超えています。また、暴力行為は依然として後を絶たず、平成25年度は6件発生しており、具体的には、検査における不合格の指摘や改善方法の説明に対し、受検者が逆上し検査職員の胸ぐらをつかむ、体当たりするなどの暴力を働いたものであり、その内1件は、職員の頭を叩き胸ぐらをつかみ振り回した1名について暴行罪で刑事罰が確定しています。
4. 自動車検査法人では、不当要求件数は減少しているとは言え、暴力行為、脅迫・威圧行為や業務妨害などの悪質な行為を合わせた件数は、全体に占める割合が5割弱となっており、これらの悪質な行為に組織全体で毅然と対応して参ります。
今後とも、引き続き、国土交通省や警察当局との連携を密にし、防犯カメラによる録画、ICレコーダによる録音等の方策や、不当要求防止責任者を選任し、緊急事態を想定した対応訓練を実施することにより、組織全体で再発防止に取り組み、的確で厳正かつ公正な審査業務を実施して参ります。

お問い合わせ先

〒160-0003 東京都新宿区本塩町8-2住友生命四谷ビル

自動車検査法人本部 企画部調査課 高瀬、大久保

電話 03-5363-3441 (代表)

03-5363-3445 (直通)

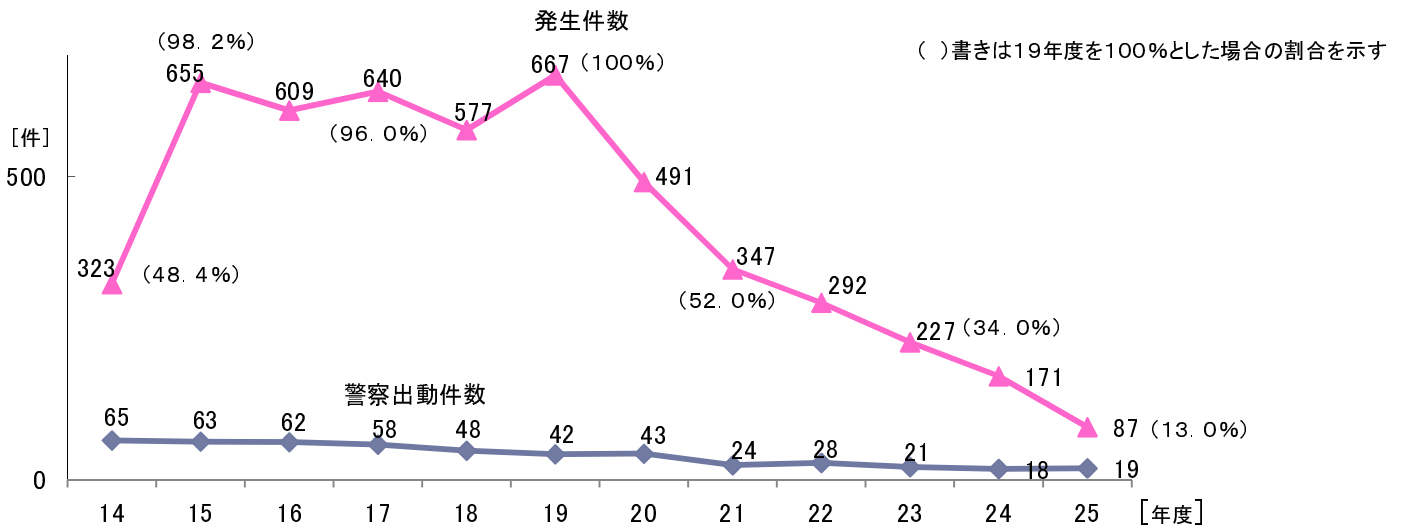
<http://www.navi.go.jp>

検査で守ろう、人、車、自然

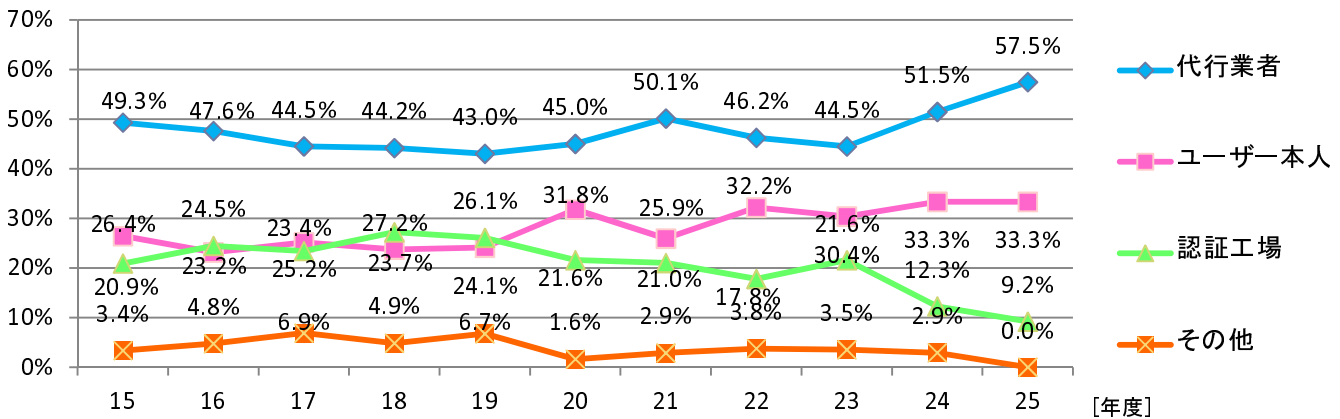
自動車検査における不当要求行為の概要

平成14年度～25度(14年度は14年7月～15年3月)

不当要求行為の推移

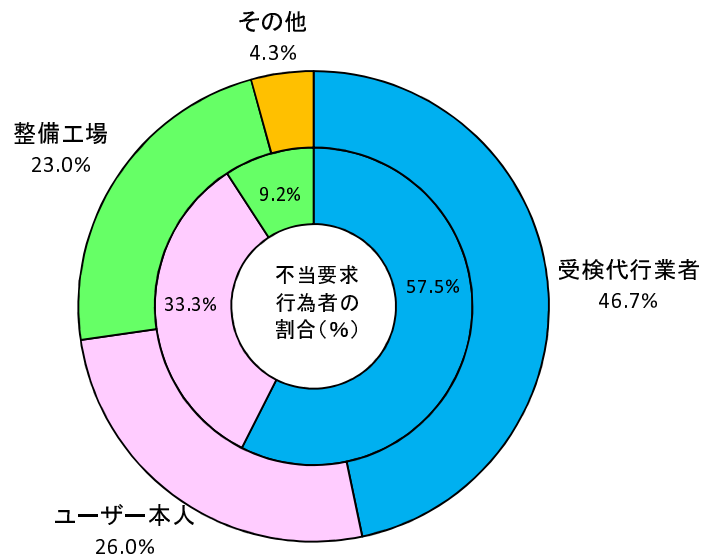


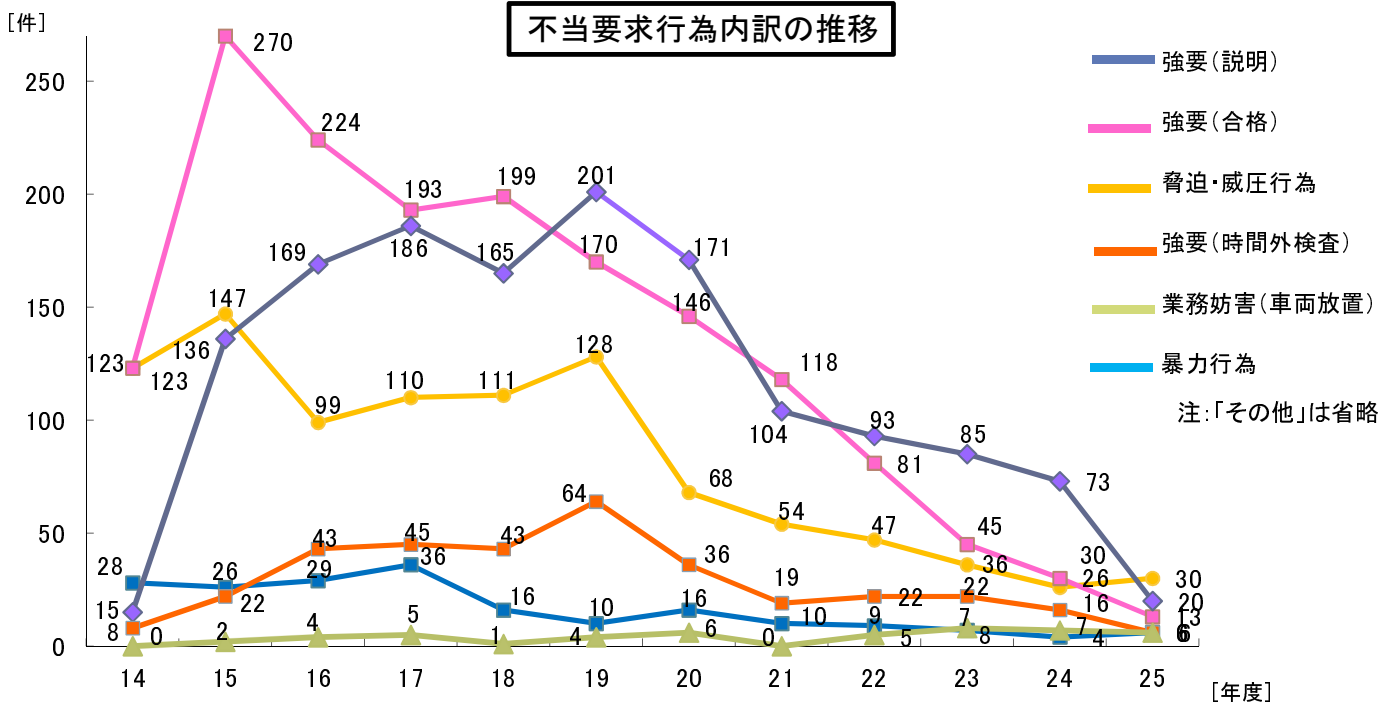
不当要求行為の受検者別推移



不当要求行為の受検者の割合

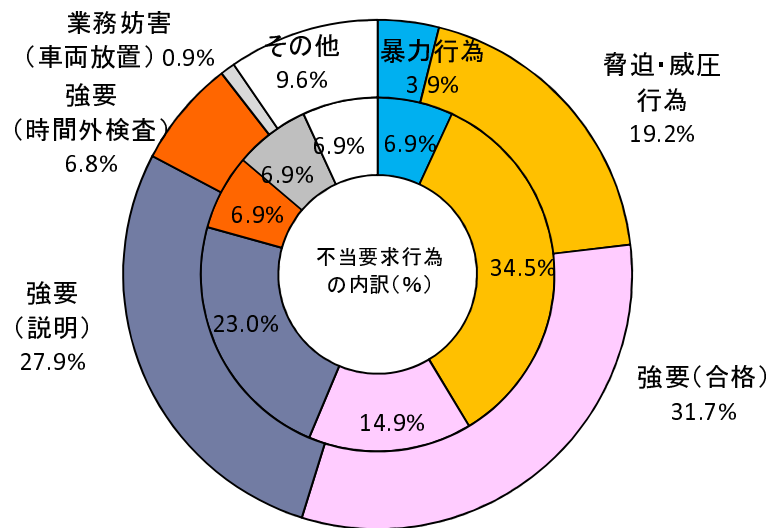
外側の円グラフは平成14年から25年度までの累積を示し
内側の円グラフは平成25年度を示す





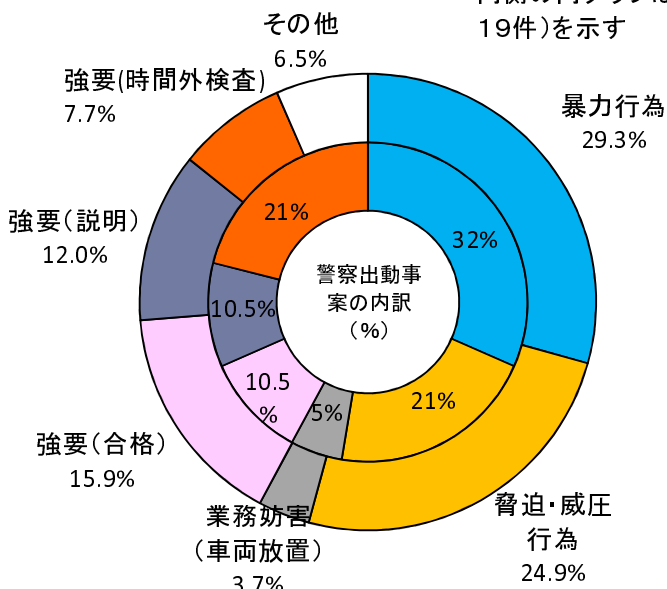
不当要求行為の内訳

外側の円グラフは平成14年から25年度までの累計(発生件数5086件)を示し
内側の円グラフは平成25年度(発生件数87件)を示す

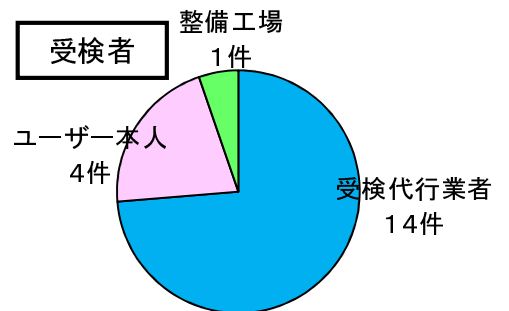


警察出動事案の内訳

外側の円グラフは平成14年から25年度までの累計(発生件数491件)を示し
内側の円グラフは平成25年度(発生件数19件)を示す



受検者



刑事事件の総数

平成14から25年度までの累計を示し、()内は内数で平成25年度分を示す。

刑事事件	54件 (1)	
逮捕者	29人 (1)	
刑事罰	懲役	6人
	禁固	1人
	罰金	23人 (1)
計	30人 (1)	